

令和元年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第2学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 内容を整理して言葉を選び、必要なことを書く力。 文章を書く上で適切な助詞を用いて書く力。 文学的文章において心情を読み取る力。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導、作文指導等、「書く」機会を意識的に増やすよう心掛ける。 視写課題を通して書く力をさらに高めるとともに、文章を読み解く力を養っていく。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本を確実なものにする。 問題文を読み解く力。 文字を使った式を作る力。 グラフを読み取る力。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークを丁寧に取組ませ、計算練習を積ませる。 問題文を読む際に、自分の言葉で読み解くことを意識させつつ、数学的な表現に慣れさせる。 線分図を用いて視覚的に理解させるなど工夫する。 1年次の関数の復習を行う際に、xやyの増加量と変化の割合(傾き)の関係を重点的に復習する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 時代の特徴・流れをしっかりとらえられていない。 物事をしっかりとらえ、考察すること 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な資料(年表、統計、図版、文献、写真など)を活用した学習の工夫 時系列に沿った整理、地理的条件などの整理から、地図や年表にまとめる 少人数による話し合い、個人の意思の表明することで深い考察を行う
理科	<ul style="list-style-type: none"> グラフを読みとる力。 問題文を読み解き、公式などを利用しながら計算する力。 基礎、基本の定着。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフを読みとり、計算問題などは、スモールステップをふませ、苦手意識の払拭、段階的に確実な理解をさせる。 内容のバランスを工夫した小テストを継続的にを行い、基礎基本の定着をさせる。 ワークを丁寧に取組ませ、基礎基本の定着をさせる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 合唱授業においては、1つの教室でのパート練習に限界があり、各パート練習の集中を妨げている。また、基本的歌唱能力を高めるための工夫、声量の拡大が求められる。 鑑賞やワークシートの記入では、語彙力の弱い生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> パート練習では、準備室を開放するなどし、各パート練習が、静かで集中できる環境で行えるよう整備する。 毎時の発声練習などを習慣化し、基本的歌唱能力を高める。 他教科とも連携し、感じたことを言葉にする能力、他の意見を参考に自分の意見をまとめる能力を養う。
美術	<p>言葉によるイメージの表し方や、鑑賞の場で使う言葉を見ると、その中で使う語彙が豊富な生徒が多い。しかし、それによってできたイメージを形にするときに、材料の特性や道具の特性が今一つ理解されていない。特に彫刻刀の使用経験が少ない生徒が多く、制作に活かしきれなかったりケガにつながりやすい恐れがある。</p>	<p>同じ材料を使った作品例を用意したり、立体に表現する前のアイデアスケッチの工程を長くするなど、形へのイメージづくりの手助けをする。</p> <p>また、彫刻刀に関しては道具の手入れも含めて指導し、いろいろな道具が身近に感じられるような経験を増やしたい。</p>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能を用いての応用力が弱い(ゲームでの活用、ボール操作、対人) 体力全般が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 試合の動画などを見させてゲームのイメージをもたせる。 補強やトレーニングを毎時間取入れ、体力向上に努める。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> 手指の巧緻性の低下 両手の共応する力の未獲得(例:技術…三角定規を二つ使えない、やっこなどによる効率の良いはさみ方を苦手としている。家庭…野菜を片手で抑え、片手で包丁を扱う。裁縫の技術等) 	<ul style="list-style-type: none"> 事前の説明をさらに視覚的に理解しやすく工夫する。 ①教員による手本をより分かりやすい形で提示する。 ②ICT機器を活用し視覚的に提示する。 ③板書の工夫 ④ワークシートの工夫
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> 絵や読み取った情報に基づいて、英語をアウトプットする力。 文法や綴りなどに注意して書く力。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士や教員との、即興のやり取りを大切に授業をする。 生徒同士や教員とのやりとりで話したことを文字にする訓練をする。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に考え行動する力。 	<p>職場体験では、将来どんな大人になりたいのかを考え、自分の将来にむけて、体験学習ができるようにする。</p>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的な課題を一人ひとりが自分自身の問題と捉え、向き合うこと。 他者との関わりの中で、物事を多面的・多角的に考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分を振り返って成長を実感できるような課題を提示する。 自分を見つめ、多面的・多角的に考え、自分の生き方について考える授業をする。